

第175回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく 』
こころ
心 をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

- 日 時 2019年1月20日（日）午後2時～4時
- 講 師 狐野 秀存（この しゅうぞん）氏 （大谷専修学院長）
- 講 題 また会いましょう
- 講師紹介 1948年石川県金沢市生まれ。日本大学中退。大谷専修学院卒業。
現大谷専修学院長。

先生からのメッセージ

「われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか」。フランスの画家、ゴーガンの絵の題です。だれも皆のこころの底にあるこの問いに、ある先生はひと言で答えられました。「また会いましょう」と。

「南無阿弥陀仏」の中で、われもひとと共に、必ずまた会うことのできる人生に目覚めるのが浄土真宗です。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。Tel.058-265-0033

MEMO

次回 第176回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年2月20日(水) 午後2時～4時

講 師 真城 義麿(ましろ よしまろ)氏 (四国教区善照寺住職)

講 題 六字のみ名をとえつつ

講師紹介 1953年愛媛県生まれ。大谷大学大学院修士課程修了(仏教学専攻)。
大谷中高等学校教諭のち大谷中高等学校長。
現在 愛媛県善照寺住職。真宗大谷学園専務理事。
日本私学教育研究所客員研究員。

メッセージ

世俗空間の中で、隅から隅まで損得勘定(欲)にもとづく勝敗・主従・高低・優劣が発想や判断の物差しとなってしまった現在、生死(いのち)のことまでが損得で考えられてしまいます。そのことの歪み・バランスの悪さ・異常性に気づくことも少なく、知らぬ間に自他を傷つけながら進んでいる私たちが、自己を見直す鏡をしっかりと持たねば危ういですね。